

令和 8 年度農業生産に係るプラスチック検討会について

1 趣旨

現在、国連の場で「プラスチック汚染に関する法的拘束力のある国際文書」の策定に向けて交渉が継続されており、プラスチック削減に係る数値目標の設定等が規定される可能性がある。また、国連食糧農業機関（FAO）において、「農林水産分野における持続可能なプラスチック使用に関する自主ガイドライン」がとりまとめられ、令和 6 年10月の農業委員会で各国による活用推奨が決議された。

国内では、「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」（令和 6 年法律第41号）等の各種法制度が整備され、資源循環の促進の動きが高まっている。最近では中東情勢の不安定化など、プラスチック原料である石油の安定供給に影響を及ぼす事象が生じており、プラスチック資材の価格や安定供給への影響も懸念されている。

そこで、本検討会では、農業生産分野におけるプラスチックの対策（排出抑制・資源の有効利用を基本とした適正処理・持続可能な資源の利用等）の推進に向けた具体的な行動を整理し、農業生産分野における行動計画の策定に向けた検討を行う。

2 検討会の体制

- （1）検討会の委員は、別紙のとおりとする。
- （2）委員は、必要に応じて追加できるものとする。

3 開催方法

- （1）本検討会の事務局（庶務）は、農林水産省農産局園芸作物課、技術普及課、畜産局総務課畜産総合推進室、飼料課等の関係局課の協力を得つつ、農産局農業環境対策課において行う。また、合同会社デロイトトーマツが事務局の補助を行うものとする。
- （2）本検討会は、非公開とする。

検討会開催後、議事要旨を作成し、参加者の確認を受けた上で公開する。資料については、原則として公表するものとする。ヒアリング先の利益を害するおそれがある場合等については、情報提供者と相談の上、対応を決定するものとする。

4 スケジュール

検討会は令和 8 年度中に計 3 回、各 2 時間程度の開催を予定する。

令和8年度農業生産に係るプラスチック検討会委員名簿

(五十音順、敬称略)

<委員>

氏名 (敬称略)	現職名
いしやま たけひろ 石山 健博	全国農業協同組合連合会 耕種資材部 次長
うえの じゅんじ 上野 淳司	ホクレン農業協同組合連合会 施設資材部 資材課 課長
きたもと ひろこ 北本 宏子	学校法人流通経済大学 流通情報学部 教授
くぼ た みつあき 久保田 光昭	農業用生分解性資材普及会 会長
たけや ひろゆき 竹谷 裕之	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 名誉教授
はやしだ しんいち 林田 慎一	熊本県農業用廃プラスチック類 適正処理対策協議会 事務局長 (熊本県農林水産部農産園芸課 課長)
はやせ じゅんいち 早瀬 純一	農業用フィルムリサイクル促進協会 事務局長
ふじむら ひろし 藤村 博志	一般社団法人日本施設園芸協会 事務局長
よしおか としあき 吉岡 敏明	国立大学法人東北大学大学院環境科学研究科 教授

<関係省庁>

- ・経済産業省 イノベーション・環境局 GXグループ 資源循環経済課
- ・経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課
- ・環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海洋プラスチック汚染対策室
- ・環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課 容器包装・プラスチック資源循環室
- ・環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制担当参事官室